



大久保病院だより

子宮筋腫とは

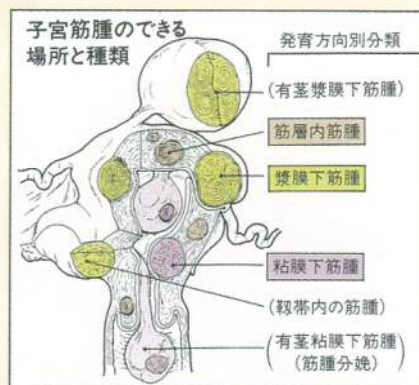
婦人科部長
高田淳子

子宮筋腫とは

子宮筋腫という病気は 30 歳以上の女性の 30% が、ミクロの状態のものまで含めると 75% の女性に認められるとも言われています。女性ホルモンが深くかかわっているため閉経までは少しずつ大きくなったり増えたりすることが知られています。

半数の方は無症状で経過して婦人科健診で偶然見つかるようですが、反面に半数の方は過多月経・月経困難症・下腹部腫瘍感・圧迫症状・不妊などの症状から生活に支障をきたしてきます。筋腫の存在する部位により症状が異なってくるといわれています。

大久保病院ではこうした子宮筋腫の部位や大きさなどを超音波検査・MRI 検査・子宮鏡検査で診断しています。



	過多月経	月経困難症	圧迫症状	疼痛	不妊症
漿膜下	△	△	○	有茎性捻転	△
筋層内	○	△	○		△
粘膜下	◎	○	△	筋腫分娩時の陣痛様の痛み	◎

治療について

患者さんによる病状や生活（人生設計）におけるニーズ・筋腫の大きさや部位・合併症などを勘案して、治療の必要性について考えていきます。経過観察でよいこともありますし、対症療法（薬剤の処方）などで症状緩和を狙ったり、手術加療が必要なこともあります。

手術の方法

大久保病院では子宮鏡下手術・腹腔鏡下手術・開腹手術などを提供しています。

子宮鏡下手術…腹部にまったくメスを入れずに腔から内視鏡でテレビモニターしながら子宮の内側に存在する筋腫（粘膜下筋腫）を摘出します。

腹腔鏡下手術…腹部に小さな穴をあけてお腹の中を内視鏡でテレビモニターしながら子宮筋腫を核出します。

開腹手術…お腹を開いて大きな子宮筋腫を核出したり、子宮全摘をおこなったりします。

女性専門外来のご紹介

井口由樹子

当院の女性専門外来は、女性の精神科医師が担当しております。

日々生きていく中でさまざまな出来事に出会い、さまざまな思いをするという事は誰しもあるものですが、その中でも、女性ならではの思いというものはあるように思われます。それらがうまくいかなくなったとき、それが心の不調や身体の不調となって現れることは珍しいことではありません。当科ではそのような方々の、ひとことでは言い表せないような思いを、ゆっくりと時間をかけて聞かせていただき、一緒に考えていきたいと思っております。

診察は1回のみで完全予約制です。予約は予約センターにお電話ください。



院内ボランティア及び図書コーナーのご紹介

大久保病院では現在2名のボランティアが週1～2日の頻度をもって1階周辺で活動しております。

活動内容は入院・外来・救急外来の各種ご案内等を行っております。また、車椅子の整理や図書コーナーの整理等も行っております。何かございましたら、お気軽にお声掛け下さい。

また、1階の売店脇には図書コーナーがございます。文庫本や漫画といったものから、患者さん向けの医学関連書籍まで各種取り揃えております。小さな小机とイスも用意しておりますので、調べ物や読書等お気軽にご利用下さい。

不明点等ございましたら、図書コーナーにおりますボランティア・司書にお声掛け下さい。



公益財団法人 東京都保健医療公社

大久保病院

〒160-8488

東京都新宿区歌舞伎町2-44-1

TEL 03-5273-7711(代表)

URL <http://www.ohkubohospital.jp>

